

第1回荒神山公園懇談会で出された 意見やアイデアについて 内容の確認と検証を行いました

日時：平成24年11月28日
場所：役場 第6会議室
参加者：一般 19名
町職員 17名
コンサル 4名 計40名



今回の懇談会は、前回に出された公園整備や管理のあり方、現状の施設の活用アイデアなど多くの意見をもとに、内容の確認と検証を行いました。会のなかでは、新しい貴重なご意見を頂きました。

町から

副町長のあいさつに始まり、今年度の荒神山公園の整備状況などについて説明がありました。また、今後の荒神山公園の整備計画の素案は、伊那市の株式会社ワイド（コンサルタント）に委託し、懇談会や町民アンケートなど行いながら、平成25年3月を目途に作成していくことなどについて報告がありました。

産業振興課

信州森の小径整備事業により、荒神山を訪れる皆さんに木もれ日の中を散策しながら、さまざまな植物、動物の観察などで森林に親しんでいただいたり、森林浴による森の癒し効果を実感していただけるように、森の中をウォーキングする際、足腰に負担が少ないウッドチップを敷きつめた遊歩道を公園内に開設したことについて報告がありました。

建設水道課

荒神山公園遊具等リフレッシュ工事を行い、老朽化したこもれび広場の大型遊具、乗り物遊具、ベンチ、東屋の改修のほか、たつの海東側のトイレ、水飲み場の改修、たつの海周辺の外灯設置、D51 奥のふじ棚及び展望台の改修を行ったことについて報告がありました。

教育委員会

公園の維持管理の現状や課題などの報告、維持管理にご協力を頂いている団体等についての紹介がありました。



森の散策道



こもれび広場



展望台

前回の懇談会で出された意見やアイデアについて次のように検証しました。今後は、今回のご意見や町民アンケート調査による情報をもとに、議論を深めていくこととしました。

箇所・施設等	アイデア	アイデア実現に必要な条件等
公園全体	(植物を保護・育成) ・維持管理や動線に配慮する	・貴重な動植物の保護・育成は重要で、専門家等による指導が必要となる
	(樹種名表示) ・子供がわかるように樹種名の表示をする	・比較的低コストで実現が可能
	(貴重な動植物の保護や生物多様性の確保) ・観察、調査、記録、保護など ・年間を通じた管理計画の策定	・貴重な動植物の保護・育成は重要で、専門家等による指導や継続的な調査や保護活動が必要
	(多様な自然の利用) ・自然を素材にした参加・体験型学習の場としての利用(小中学生、観光、公民館活動) ・ウォーキング、ネイチャーゲームなどを取り入れた健康や介護予防利用	・健康・介護予防利用の場合、必要に応じて新たな施設が必要となることがある ・活動内容で効果の差が大きい
	(樹木の老木化や森林の荒廃への対策) ・剪定、間伐、病気対策などの維持管理はボランティア活動で対応	・ボランティア団体との連携が必要 ・専門家等による指導が必要
園路	(ジョギング、ウォーキング利用) ・降雨で悪路となるため、路面素材を工夫する ・距離を長くする ・森の小径事業で新設する遊歩道とのつながりに配慮する ・地形的な起伏を利用したランニングコースを設ける	・路面素材により、比較的低コストで実現が可能
駐車場	(駐車場の容量について) ・大きなイベントへの対応が必要	・現状でも駐車可能台数は充分とみられるが、場所が分散しているため、イベントごとの対応が必要
トイレ	(改修などについて) ・現状のトイレを改修しイメージアップを図る	・位置や数量を含め、公園全体での検討が必要
ウォーターパーク	(広い面積の利用) ・ドッグランを整備する ・全天候型アリーナをつくる	・一般の利用者との棲み分けが必要 ・利用者のマナーが求められる ・全体構想で利用形態や位置づけを明確化する必要がある
	(こども動物園) ・敷地内にこども動物園を造ることによって上伊那全域での集客に期待	・専門施設の建設や維持管理のコストが大きいいため運営には相当な工夫が必要
	(産地直売所) ・地産地消や地域サービス、観光利用などに期待	・商圏が比較的小さいことや、場所的な課題があるため、運営に相当な工夫が必要
パークホテル	(朝市について) ・現在行っている朝市(7月～11月、月2回)を継続し、観光活用や営農支援を図る	・既に実施しているため、今後は空間的な工夫の要否について検討

次のようなご意見をいただきました

- 荒神山公園は集客を優先するのかそれとも維持管理を優先するのかがわからない。集客は公園を活性化するという事で、維持管理については町民の福祉等を優先するという事につながると思う。
- 産地直売所については、荒神山はあまり場所は良くないかもしれないが、やりようによってはうまくできるかもしれない。
- ウォーターパークは町のお荷物的な存在になっている。これが一番の問題点ではないか。
- 以前、スマートインターチェンジの話があり、サービスエリアのような施設をつくりそこで産直をやったらどうかという話があったがどうか？
- プール併設のフィットネスの施設をつくり、管理していったら集客が見込めるのではないか。
- サッカー場を若い人たちのために造ったらどうか。芝を張り、合宿できる施設を造れば集客効果は期待できるのではないか。
- 植物の管理については、荒神山は赤土で酸性土のため、ふくじゅ草などは不向きである。
- 町として荒神山公園で何をしたいのかがわからない。町としての基本理念を出したほうが良いのでは。
- 外灯について、今後、新設・修繕するものがあるならば、夜空(星空)に少しでも影響の少ないものにして欲しいと思います。
- この懇談会は進め方がわかりにくい。時間はかかってもワークショップ手法が必要。
- 塩尻にある「チロルの森」などを参考にし、取り入れられるものは取り入れる。